

令和3年2月8日

保護者 様

郡山市立安積第二中学校長 橋本 公秀

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の継続について

余寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、新型コロナウイルス感染症予防対策について、深いご理解とご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。

さて、郡山市教育委員会通知により、令和3年1月13日（木）より同年2月7日（日）までの間、感染症対策の強化を下記のとおり行っているところですが、対象期間を下記の通り延長するとの通知がありました。

つきましては、本校の教育活動を適切な感染防止対策をしながら、下記の通り実施してまいります。引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

記

1 期 間 令和3年2月8日（月）～2月14日（日）

2 対象期間の対応

- (1) 感染リスクの高い学習活動（部活動において実施する場合を含む）については、停止する。
- (2) 緊急事態宣言対象地（今後追加される地域も含む。以下同じ。）への不要不急の往来は自粛する。
- (3) 入試や就職試験、各種全国大会等やむを得ない事情により緊急事態宣言対象地へ往来する場合は、往来後2週間の健康観察を徹底する。
- (4) 宿泊を伴う学校行事、合宿、遠征等は停止すること。ただし、全国大会、東北大会及び県大会での宿泊は可能とする。
- (5) 部活動等における感染症対策について
 - ① 感染リスクの高い活動を除いて実施する。
 - ② 活動前後に児童生徒同士で食事をすることは控えるよう指導する。
 - ③ 他校との練習試合や合同練習会は停止する。
- (6) 学校内における感染症対策について
 - ① 健康観察の徹底
 - ・登校前の検温等や登校後における健康観察を徹底する。
 - ・児童生徒等の同居する家族に発熱等の症状が見られる場合も出席停止の措置をとる。
 - ② 給食・昼食時の対応
 - 飛沫を飛ばさないよう、対面にしない、大声での会話を控える等を徹底し、食事後の歓談時には必ずマスクを着用する。
 - ③ 換気・清掃等の徹底
 - 冬季においても換気を行い、日々の清掃活動を徹底する。
 - ④ 差別・偏見・中傷の防止
 - 感染者や濃厚接触者について、差別・偏見や中傷を防止するための啓発を図る。
- (7) 学校外における感染症対策について
 - ① 生徒同士の会食やマスクを外しての会話など感染リスクの高い行動を自粛する。
 - ② 不要不急の外出や外泊などを自粛する。

（担当 教頭 海野 浩 TEL 947-1124）

福島県内「ステージⅢ」

各都道府県で今後想定される感染状況

目標 : 医療・公衆衛生・経済が両立しうる範囲で、
 ①十分に制御可能なレベルに感染を抑制し、死亡者・重症者数を最少化。
 ②感染レベルをなるべく早期に減少に転じさせる。
 ※感染状況及び対策の検討にあたっては、大都市部と地方部の違いに配慮が必要。

ステージⅠ 感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階

ステージⅡ 感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階

3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある。

P6の取組及びP7の取組のうち、黒字の取組を実施

ステージⅢの指標

ステージⅢ 感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅡと比べてクラスターが広範に多発する等、感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。

ステージⅢで講ずべき施策(P7)を実施

ステージⅣの指標

ステージⅣ 爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥いることを避けるための対応が必要な状況。

ステージⅣで講ずべき施策(P8)を実施

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2 m 程度 (最低1 m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2 m 程度 (最低1 m)	リスクの低い活動から徐々に実施 ²	リスクの低い活動から徐々に実施 ² し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1 mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	適切な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施